

# GINGA REPORT 401

No.78  
2021.11

そらんぼ四日市 検索

発行日：令和3年11月1日  
編集&発行：四日市市立博物館・プラネタリウム  
電話：059-355-2700

## 11月の星空

星図：ステラナビゲータ9/(株)アストロアーツ

### 秋の四辺形を使いこなそう

11月15日21時の星図

### エチオピア王家の神話

頭の真上近くに見える秋の四辺形は、秋の星座探しの目印として非常に便利な形です。まず、秋の四辺形はペガサス座の胴体の部分を表します。そんなペガサス座の後ろ足のよう伸びるのが、アルファベットのAの形からなるアンドロメダ座です。

東側の二つの辺を、南の方へ伸ばしていくと、くじら座のしっぽの星が見つかります。反対に北の方へ伸ばしていくとカシオペヤ座のWが見えてきます。

#### カシオペヤ座で北極星探し

さらにカシオペヤ座からは、北の方角の目印となる、北極星を探すことも出来ます。カシオペヤ座のWの両端のラインをそれぞれ伸ばし、その交点とWの中心の星との距離を5倍に延長した先で、黄色く輝く星が北極星です。

北極星探しには、秋の四辺形を使うことも出来ます。カシオペヤ座を見つけるために秋の四辺形から伸ばした線をさらに伸ばしていくと、こちらも北極星にたどり着くのです。



エチオピア国王ケフェウスとその妃カシオペヤには、アンドロメダという美しい娘がいました。カシオペヤはある日、「アンドロメダの美しさには、海の妖精たちも敵わない」と自慢をしまいます。それを聞いた海の神は怒り狂い、恐ろしい化けくじらをエチオピアの海岸に差し向けたのです。そこで、困り果てた王は、娘を化けくじらの生贄に差し出すことにしました。

アンドロメダがくじらに食べられそうになったそのときです。ペガサスにまたがった、勇者ペルセウスが現れました。ペルセウスは、先ほど退治してきた魔女メデューサの首を突き出し、化けくじらを石にしまいました。後にペルセウスとアンドロメダは結婚し、末永く幸せに暮らしたということです。

このように、秋の四辺形から探すことのできる星座たちの多くは、エチオピア王家の物語に関連しています。壮大な物語を秋の夜長に楽しんでみませんか。

## 11月のガリレオ教室

### 部分月食を知ろう

11月19日(金)には部分月食が見られます。いつもと違った月をどんなふうに見ればよいか、一緒に学んでいきましょう。

日時：11月14日(日)

① 11:00~11:20

② 14:00~14:20

場所：5階 コズミックラウンジ

料金：無料

定員：14名

## 今月の天文トピック

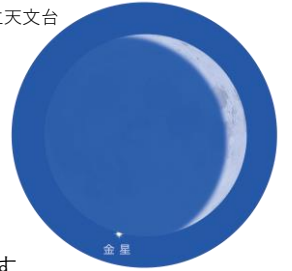
### 隠れるのは月と太陽だけじゃない? ~金星食とは~

11月8日(月)に、白昼の金星食が見られます。金星食とは、金星の前を月が横切り、金星が隠される現象のことです。太陽が月に隠されることを日食、月が地球の影に隠れることを月食というように、星や惑星が月に隠される現象のことを星食(せいしょく)と言います。

今回の金星食は昼間に起きるため、観測には双眼鏡が必要です。ただし、金星の光度は-4.5等とかなり明るく、青空の中の三日月を見つけることができれば、双眼鏡で楽に見ることができます。もちろん月に隠される13時46分から14時27分は見ることが出来ませんが、その前後の時間帯でまずは細い三日月、次に金星を探してみましょう。

※双眼鏡で太陽を見ないよう注意してください。

©国立天文台



## 博物館主催 スターウォッチング

### 【博物館主催きらら号観望会】

場所：博物館前市民公園

◇11月27日(土) 18:30~20:00 「巨大惑星を見よう」

### 【博物館主催流星群観望会】

場所：伊坂ダムサイクルパーク管理事務所付近

◇11月19日(金) 18:00~20:00 「部分月食を見よう」



## 編集後記

金星食に部分月食にと、「食」欲の秋という言葉がしっくりくる11月。ただし、星食はより小さくくりでは「掩蔽(えんぺい)」という難しい専門用語となります。掩蔽とは、観測している天体と観測者の間を他の天体が通過するために、観測している天体が隠される現象のこと。だそうです、やはり私には食の方が美味しそうではないかと思ってしまうのです。

## 11月の月

5日 新月

11日 上弦

19日 満月

27日 下弦

※当日受付・参加無料です。  
※天候不良時は中止です。(通常3時間前に決定します)  
※マスク着用、手指消毒、観望会受付票の記入をお願いいたします。